

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公表番号】特表2001-508559(P2001-508559A)

【公表日】平成13年6月26日(2001.6.26)

【出願番号】特願平11-528633

【国際特許分類】

G 0 9 B 5/00 (2006.01)

G 0 9 B 19/04 (2006.01)

G 0 9 B 19/06 (2006.01)

【F I】

G 0 9 B 5/00

G 0 9 B 19/04

G 0 9 B 19/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月8日(2005.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年11月8日

特許庁長官 中嶋 誠 殿

1. 事件の表示

PCT/US98/23748

平成11年特許願第528633号



2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国 カリフォルニア州94704
パークレイ, ユニバーシティ・アベニュー, 1995 #400

名 称 サイエンティフィック・ラーニング・コーポレーション

国 籍 アメリカ合衆国

事件との関係 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国 カリフォルニア州94607
オークランド, フランクリン・ストリート, 1111, 12階

名 称 ザ・リージェンツ・オブ・ジ・ユニバーシティ・オブ・
カリフォルニア

国 籍 アメリカ合衆国

3. 代理人

住 所 〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目18番19号
三井住友銀行名古屋ビル7階

電話番号 052-218-5061

連絡先 担当は井上佳知

氏 名 (9681) 弁理士 五十嵐 孝雄



住 所 同 上

氏 名 (9714) 弁理士 下出 隆史



4. 補正対象書類名
明細書

5. 補正対象項目名
請求の範囲

6. 補正の内容
別紙のとおり

出願時請求項 2 ～ 8, 10 ～ 15, 17 ～ 19, 21 ～ 26 が削除された。請求項
5 ～ 12 が追加された。

(別紙)

請求の範囲

1. 触覚、聴覚、および視覚のいずれか一つに関係する、人の第一形態情報の時相処理能力を向上させるためのコンピュータにより実現される方法であって、

コンピュータを準備するステップと、

前記コンピュータに接続されると共に、前記コンピュータから出力された制御信号に応じて触覚、聴覚、および視覚の内のいずれか一つに関係し且つ前記第一形態情報が関係する感覚とは異なる第一刺激を発生させる刺激発生装置を準備するステップと、

前記刺激発生装置から出力される前記第一刺激を人に与えるステップと、前記第一刺激は、複数のタイムスケールを中心とする前記第一形態情報の時相処理能力の向上を容易にするように、前記複数のタイムスケールを中心として出力されることを備える方法。

2. 人の聴覚情報の時相処理能力を向上させるためのコンピュータにより実現される方法であって、

コンピュータを準備するステップと、

前記コンピュータに接続されると共に、前記コンピュータから出力された制御信号に応じて触覚刺激を発生させる刺激発生装置を準備するステップと、

前記刺激発生装置から出力される前記触覚刺激を人に与えるステップと、前記触覚刺激は、複数のタイムスケールを中心とする前記聴覚情報の時相処理能力の向上を容易にするように前記複数のタイムスケールを中心として出力されることを備える方法。

3. 人の聴覚情報の時相処理能力の向上を容易にするためのコンピュータが読み取り可能な命令を含むコンピュータ読み取り可能媒体であって、

人に対する触覚試験を繰り返し実行するためのコンピュータ読み取り可能命令を備え

、
前記命令は、

コンピュータに接続される刺激発生装置を用いて、人に与えられるように構成され

、且つ、複数のタイムスケールを中心とする前記聴覚情報の時相処理能力の向上を容易にするように、前記複数のタイムスケールを中心として出力される触覚刺激を発生させるためのコンピュータ読み取り可能命令と、

前記触覚刺激に対する人の応答を前記コンピュータに入力するためのコンピュータ読み取り可能命令と、

前記応答が正確であるか否かを評価するためのコンピュータ読み取り可能命令とを含むコンピュータ読み取り可能媒体。

4. 人の聴覚情報の時相処理能力の向上を容易にするためのコンピュータにより実現される方法であって、

人に対する触覚試験を実行するためのコンピュータ読み取り可能な命令を準備するステップを備え、

前記ステップは、

コンピュータに接続されている刺激発生装置を用いて、人に与えられるように構成されていると共に複数のタイムスケールを中心とする前記聴覚情報の時相処理能力の向上を容易にするように、前記複数のタイムスケールを中心として出力される触覚刺激を発生させるためのコンピュータ読み取り可能命令を準備するステップと、

前記触覚刺激に対する人の応答を前記コンピュータに入力するためのコンピュータ読み取り可能命令を準備するステップと、

前記応答が正確であるか否かを評価するためのコンピュータ読み取り可能な命令を準備するステップとを備える方法。

5. 触覚、聴覚、および視覚のいずれか一つに関係する、対象固体の第一形態情報の時相処理能力を向上させるためのコンピュータにより制御される装置であって、

少なくとも時相処理能力の評価および向上のいずれか一方を実行するためのコンピュータにより制御された刺激を、対象固体に提供するコンピュータと、

前記コンピュータに接続されると共に、前記コンピュータから出力された制御信号に応じて触覚、聴覚、および視覚の内のいずれか一つに関係し且つ前記第一形態情報が関係する感覚とは異なる第一刺激を発生させる刺激発生装置とを備え、

前記コンピュータおよび刺激発生装置は、前記刺激発生装置から出力される前記第一刺激を人に与え、前記第一刺激は、対象となるタイムスケールにおける複数の基線の各基線を中心として出力され、これによって、複数のタイムスケールを中心とする前記第一形態情報の時相処理能力の向上が促進される装置。

6. 請求項5記載の装置において、前記複数の基線は知覚処理ベース間隔内で選択される装置。

7. 請求項6記載の装置において、前記知覚処理ベース間隔は約10ミリ秒から約500ミリ秒の間である装置。

8. 請求項5から請求項7のいずれか記載の装置において、前記第一形態情報は聴覚に関するものであり、前記第一刺激は触覚に関するものである装置。

9. 請求項5から請求項7のいずれか記載の装置において、前記第一刺激は、二択式の強制選択フォーマットに従って人に与えられる装置。

10. 請求項5から請求項7のいずれか記載の装置において、前記第一刺激は、サンプル照合フォーマットに従って人に与えられる装置。

11. 請求項5から請求項7のいずれか記載の装置において、前記第一刺激は、限定保持応答時間フォーマットに従って人に与えられる装置。

12. 請求項5から請求項7のいずれか記載の装置において、前記第一刺激に含まれる個々の刺激は、実質的に同一の強度並びに空間パラメータを有する装置。